

科目名	東北の歴史と文化	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			国際学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	History and Culture in Tohoku Prefecture	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	かまだ ゆきお	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	鎌田 幸男	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	東北の風土と戦乱の歴史の概要を知る。東北地方の代表的な文化と経済を考える。また文人の足跡を知る。			
到達目標	東北地方の開拓の歴史。代表的な文化—蝦夷の文化、平泉文化、修験信仰、北前船の往来、そして経済的な基盤は何かを知る。			
授業概要	東北地方は古くから奥羽地方と呼ばれてきた。時には「みちのおく」とか「いでは」とも称されている。ここに武士団が移住して納めることになる。文化面でも経済面でも独自の発達をした。本講義では、東北地方の風土的視野から歴史の概要と伝統的な文化を扱う。			
授業計画				
第1回	講義の概要に行いて説明する。			
第2回	東北の夜明け—地理的、環境的な視野から考える。			
第3回	蝦夷とはどのような民族か、その文化とはどのようなものか（「みちのおく」「いでは」のこと）。			
第4回	古代東北の開拓—出羽柵、出羽の国の設置。秋田城と呼ばれたころ。			
第5回	武士団の進出—前9年の役、後3年の役。			
第6回	藤原氏と平泉文化			
第7回	仏教文化の浸透と修験信仰の流入。			
第8回	鎌倉幕府と北条市の勢力の浸透			
第9回	群雄割拠と伊達政宗の勢力			
第10回	経済の支え—砂金、馬、米など			
第11回	秋田への安藤氏進出—安藤愛季と秋田実季のこと			
第12回	近代の歩み—戊辰戦争と東北諸藩の動向（秋田藩の動き）			（小テスト20分）
第13回	北前船の往来—文化の伝播船として			
第14回	菅江真澄の足跡—東北地域			
第15回	佐藤信淵の足跡—本学の祖師と仰ぐ人物。			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	道端の文化財—石碑などに関心を持つ。秋田県内には戊申の役（石碑）があります。関心をもって見てほしいと思います。			
履修条件 受講のルール	東北の歴史に関心をもって授業に臨んでほしい。必要に応じて資料を配布する。無断欠席の学生には原則配布しない。			
テキスト	半期の科目なのでテキストは使わない。			
参考文献・資料				
成績評価の方法	① 定期試験（60%）、②小テスト（20%）、③レポート（20%）、①②③の総合評価とする。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	金曜日（11:00～12:30）これ以外の場合は事前連絡があると日程調整をする。			
成績評価基準	秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）			
実務経験及び実務を活かした授業内容				
学生へのメッセージ	学習したことをその日のうちに「まとめる、ノート整理をする」時間を持つてほしい（1, 5時間）。それは次の時間の意識に繋がる。こうした時間を習慣化してほしいと思います。			